

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver  
互応化学工業株式会社

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補  
■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei\

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15		-	3.0
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.40		-	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00		-	
2 騒音対策							-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.0</b>	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能				-			-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	0.20		-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.2</b>	0.35		-	3.2
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.5</b>	0.50		-	
1 室温				3.0	0.38		-	
2 室温変動・温度制御性							-	
3 外皮性能		外壁ALCパネル、窓LOW-eガラスを採用		5.0	0.25		-	
4 ソーン別制御性				3.0	0.38		-	
5 湿度・湿度制御							-	
6 個別制御							-	
7 室温変動・温度制御性							-	
8 湿度・湿度制御							-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>3.0</b>	0.20		-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25		-	3.0
<b>3.1 屋光利用</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	
1 屋光率				3.0	0.60		-	
2 方位別開口							-	
3 屋光利用設備				3.0	0.40		-	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	
1 グレア対策							-	
2 屋光制御				3.0	1.00		-	
3 グレア対策							-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15		-	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25		-	
<b>4 空気環境</b>				<b>3.0</b>	0.25		-	3.0
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>3.0</b>	0.50		-	
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-	
2 化学汚染物質							-	
3 化学汚染物質							-	
<b>4.2 換気</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.33		-	
2 自然換気性能				3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-	
4 換気設備							-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>3.0</b>	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30		-	<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.1</b>	0.40		-	3.1
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40		-	
1 広さ・収納性				3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>3.3</b>	0.30		-	
1 広さ感・景観		事務室の天井高2.7m以上		4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33		-	
3 内装計画				3.0	0.33		-	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
3 維持管理業務							-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.31		-	3.0
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48		-	
1 耐震性				3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20		-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.0</b>	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23		-	

2.4 信頼性			3.0	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29		-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31		-	
1	階高のゆとり	階高さ3.9m以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比0.11	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.2
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.43		-	3.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.29		-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	カーテンウォールの採用	4.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルの採用	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			-	-		-	-
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)		ERR換算値=105%	-	-		-	-
集合住宅の評価			-	-		-	-
4 効率的運用			3.0	0.29		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.4
1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.63		-	3.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.09		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	-		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.26		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.26		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.07		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	ALCパネル採用、天井・壁配管スペース確保、個別空調・給湯	5.0	0.32		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-	
1	消火剤	不可性ガス消火剤を使用	4.0	0.33		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクル排出率が31%	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.50		-	
2	振動		3.0	0.50		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	